

令和8年度

第2回総合型選抜

小論文

解答例

(80分)

注 意

1. **試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。**
2. この問題冊子は、表紙を除いて2ページあります。
3. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明・汚れ、ページの落丁・乱丁等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
4. 解答用紙の定められた欄に、**氏名と受験番号を監督員の指示に従って記入してください。**
5. 解答は、解答用紙の定められたところに記入してください。
6. 色付き紙1枚は下書き用紙です。下書き用紙に書かれたものは、採点の対象とはしません。
7. 問題冊子と下書き用紙は、持ち帰ってください。

【小論文 出題意図】

以下に列挙する点を見る。

1. 文章や図で示された情報を正確に把握し、着目すべき考えやデータを正しく抽出できている。
2. Q1 のアンケート回答者の半数以上を占める、機会があれば手話を学びたい（＝手話を学んでいないのは何かしらの理由により手話を学ぶ機会を得るのが難しいため）という回答者について、他のアンケート項目（Q3）への回答結果とを結び付け、手話学習を難しくしている理由を推測し、記述することができている。
3. 手話学習に関心のない人に関心を持ってもらう方法として考えられる取り組みを、論理的に述べることができている。

【解答例】

解答用紙

- 氏名、受験番号を正確に記入すること。
- ※欄には何も記入しないこと。

氏名		受験番号					
----	--	------	--	--	--	--	--

私は、手話学習の機会がない、また得るのが難しい理由には大きく二つあると考える。一つ目は、費用の問題である。Q3の結果を見ると、「無料で学べる講習会がある。」と答えた人が52.5%と最も多かった。また、「手話を学ぶお金があれば学ぶ」と答えた人も15.5%いた。このことから、手話を学びたくてもお金がかかるため始められない人がいると考えられる。二つ目は、時間が足りないという問題である。Q3では、「手話を学べる場所が近所や通勤圏内にある」が38.9%、「手話を学ぶ時間があれば」が34.9%と多く選ばれている。これは、仕事や学校で忙しい人にとって、手話を学んだり手話サークルに通ったりする時間を確保することが難しいためだと考えられる。以上より、費用と時間の二つが、手話学習の機会を得るのが難しい主な理由である。

手話学習に関心のない人に関心を持ってもらう方法として私は次の二つの取り組みが効果的だと考える。一つ目は、日常生活の中で手話を見る機会を増やすことである。Q2では、16.5%の人が「実際の手話を見て知りたかった」と答えている。この結果から、手話に触れる機会が増えれば、興味を持つ人も増えると考えられる。例えば、市役所や駅など多くの人が利用する場所で、文字や音声の案内に加えて手話動画を流す方法がある。実際に、私が使うつくばエクスプレスでは、運行情報を文字と手話動画で伝えている。二つ目は、テレビや映画などのメディアを通して、手話を使う人の存在を身近に感得てもらうことである。日本のドラマや映画にろう者の俳優が出演することで、手話を使って生活する人が社会の中にいることを自然に伝えられるだろう。実際に、ドラマ『Silent』が放送されたとき、私の周りでも手話に関心を持つ人が増えたと感じた。このような取り組みを行うことで、より多くの人を手話に興味を持つようになる。と私は考える。

200

400

600

800

